

VOL.138
2021.10.1

BUNTO

ぶんと通信

～自分のまちは自分で灯す～

竹あかりアーティスト かわぶち 川瀬 こうへい 皓平 さん

TOPICS

自分のまちは自分で灯す

竹あかりアーティスト

川瀨 皓平さん

川瀨さんは奈良県の出身。2007年頃から竹あかりの作品制作を始める。2016年、伊賀に活動拠点を移した。伊勢志摩サミットや三重県総合文化センターの「そうぶんの竹あかり」、伊賀市では「ライトアップイベントお城のまわり」などを手掛けてきたほか、昨年には三重県文化新人賞を受賞するなど、幅広く活躍をされています。

21歳の時に100日間地球一周で知られるピースボートに乗り、様々な価値観の若者たちの刺激を受ける。そこで意気投合したメンバーと熊本で竹を使った循環型の事業を立ち上げ、川瀨さんは農作業などをしながら、竹あかりを製作するようになった。

その会社が熊本城を会場とした「みずあかり」というあかりのイベントで製作監修デザイナーやボランティアの指導などを任された。



2か月間かけ1000本ほどもある竹あかり作品を作り込んだ。大勢の人に驚き喜ばれ、その来場者は10万人とも20万人ともいわれた。邪魔だと言われることの多い竹が、みんなで一

懸命に作り込むことにより、こんなにも人々に感動を呼び、伝わり喜ばれる存在となった瞬間だった。

この出来事をきっかけに、農作業ベースの生活から、竹あかり一本に絞って取り組むこととした。打ち込んだものが人に響き伝わる熊本での体験が、川瀨さんの製作活動の原点になっています。

昨年から今年にかけて47都道府県で竹あかりを同日に一齐に灯すプロジェクト「みんなの想火」に参画し、副実行委員長を務めた。オリンピック開会前夜の7月22日「自分のまちは自分で灯す」を合言葉に各地から500人が携わり2万本もの竹あかりが灯された。

15年前に竹あかりを始めたころ、それを仕事としている人は周りにいなかった。「みんなの想火」に携わり、竹あかりが日本中に広がり「自分のまちは自分で灯す」がカタチになり文化として根付き、「竹あかりをやってみよう」が当たり前になる世の中になることを願っているそう。

作品作りで意識していることは「みんなが竹あかりにかかわりやすくなること、竹のあかり作品として芸術的な価値を高めること、これらを両輪の輪として世に見せていけるようにしていきたい」と語った。これからも素敵な作品を見せていただくことを楽しみにしています。

(文 広報事業委員 下猪 茂樹・写真 山口 貴史)

クラシック
コラム

初恋の曲

K君は九州の田舎で育ちました。戦争に負けて間もない頃で、日本中が貧しかった時代です。子どもたちはアメリカからの食糧援助で食いつないでいました。娯楽らしいものは何も無く、K君が耳にする音楽と言えはラジオから流れてくる流行歌くらいのもの。学校で習う唱歌にも、K君はあまり興味を持っていません。

5年生のある日、担任の先生が学校の予算で買ったばかりの電蓄(LPプレーヤー)を持って意気揚々と教室に入ってきた。そしてK君たちに聞かせてくれたのがベートーヴェンの交響曲第6番「田園」でした。ベートーヴェンの名前は知ってはいました。でもその音楽がどんなものなのか、K君は聞いたことがありません。

K君は引きつけられました。特に第5楽章。嵐が終わって雨が上がり、黒雲が去って青空が広がって行く。そして雨で洗われた澄んだ空気の中に緑の山野が美しく見える。言葉のないオーケストラだけの演奏なのに、そんな情景が目の前に展開されていくではありませんか。しかも使われているのは主和音をアルペジオ風に分解しただけの簡単な旋律。その何と美しいこと。それが様々な楽器に引き継がれ、転調され、展開されていきます。その力強いこと。

これが音楽というものなのか。K君にとっては衝撃的な出会いでした。そして彼は異性に対するより早く音楽に恋をしてしまいました。

今、伊賀コミュニティオーケストラでチェロを弾いているK君は思うのです。当時とは比較にならないほど経済的に豊かになった現代の、多様な娯楽や刺激に満ちた社会でも、それに馴れてしまふことなく、若き日の感動を持ち続けたいものだ。



伊賀コミュニティオーケストラ
の 野村 行生
(チェロ)

先取り
インタビュー

歌える喜び、仲間と共に

歌う楽しさを知ったのは、丸山中学校時代。今は亡き恩師、百本ヒロミ先生の音楽の授業が原点だった。仲間と共に心から歌い合える楽しさ、声と声がついたり重なりその場で響き合うハーモニーの素晴らしさに夢中になっていったのだという。それから音楽は常に傍にあり、今は高校や自宅、公共の場で、子どもたちに音楽とその楽しさを教え続けている。

運営委員・指導スタッフとして関わる『上野児童合唱団 山の子ども』の活動がコロナで自粛が続く中、思わぬところから声が掛かった。伊賀市文化会館開館三十周年記念事業、オペラ『ヘンゼルとグレーテル』の舞台だ。関西二期会所属のプロのオペラ歌手と大阪交響楽団との共演：夢のようとはこのことですと笑みがこぼれる。この舞台のために『ジョイフル・ハーモニー』を結成した。これまで関わった教え子に加え、『山の子ども』のつながりから集まってくれたという彼女たち。「一人ひとり歌うことが大好き。この時期だからこそ出会えた最高の仲間です」、紹介する重住さんの声にも力が入る。

ソリストと同じメロディラインに、重なりあう複雑なハーモニーを、自身も含めて12名で挑戦する。

歌えることの喜び、つながりへの感謝をオーケストラの演奏に乗せ、通じ合える仲間との美しいハーモニーで高らかに歌い届けてくれることだろう。

(文 広報事業委員 岡森 史枝・写真 山口 貴史)



しげ ずみ あ や
重住 亜也 さん

10月17日(日)15時開演
オペラ「ヘンゼルとグレーテル」
会場：伊賀市文化会館

しつてますか

白帆ばしらと舟歌とー種生神社秋祭りー

海拔370メートルの山里にある種生神社は昔々、神が舟でお渡りになられたらしい。

古くから伝わる珍しい伝統行事の秋祭りは伊賀市の無形民俗文化財に指定されている。(例年10月最終週の土曜日・日曜日開催)

祭り当日、社殿内での大祭の祭典、氏子全員の直会式の後、豊作と安全を願う伝統神事『渡御式』が行われる。

神社から100メートル先の御旅所までを三往復する馬掛け神事(本来は共に働く農耕馬に荒縄をかけ、鞍なしで走ったとか)に始まり、三頭の獅子舞を先頭に『相撲幕』、『こたつき』(青竹と二反の白木綿で舟の帆を模したもの)、その後『舟形だんじり』が続く。

神代の昔、鹿島の神『武甕槌神』(タケミカヅチノカミ)が舟でお渡りになられた姿を映し伝えた舟形だんじりを押すように古老らの唄う舟歌が響く。

「秋の田を刈りほし行けば
あら露の ソイトノウ：」

この渡御式は種生神社の帆掛け神事と呼ばれ、山国にこのような行事が残されているのは極めて珍しい。

以前は宵宮に神社境内の特設土俵で奉納相撲があった。現在は後継者不足により中断しているとのことだが、ぜひまた種生独自の相撲甚句の口上を

「東西、東西、東西：」と山里の空に響かせてもらいたい。

(文 広報事業委員 今西 由佳)



舟形だんじり



こたつき

「いつかの家計簿」

伊藤たかみ

天高く馬肥ゆる秋……。最近、この
故事成語を目にすることが減った気が
する。秋の描写として、小説やマンガ
によく登場したものだけれど。

それはともかく、わが息子。昔から
馬肥ゆつてゝいたのだが、今年に入
り縦にぐんぐんと伸びだしてきた。朝
リビングで会うたび、また大きくなっ
たと驚いてしまう。赤ちゃんのとき以
来、再び近所の人たちからも、大き
くなったねと声をかけられるようにな
った。

だが当の息子はそっけない。「どうも」
とクールに会釈をするだけで、嬉しい
のか照れてるのか、めんどくさいのか、
いつも涼しい顔をしている。

ちなみに僕も昔は、大人たちから大
きくなったといわれるのが苦手だった。
だがこれは、本当に大きかったせいだ。
今の自分からは想像もつかないのだけ
れど、小学6年生になったばかりです
でに166センチを超えていた。秋に
は170センチ。中学料金を払えとバ
スの運転手からいわれたこともあるし、
友達と一緒にいたら父兄と間違われ
たりもしたし、身長が高いのが本当に嫌
だった。僕が繊細だっただけじゃなく、
大人にもデリカシーが欠けていた時代
だったのだ(まだそのままの大人も、
たまにいるが)。
しかし息子は、父のような苦い思い
など経験していないと信じている。確

かに背は高いほうにしたって、同じく
らい伸びた男女がクラスに何人かいる。
感じの悪い運転手がいるバスもはや
走っていない。歳上のいとこだって背
が高いのだから、心の準備もついてい
たはずだ。
なのに息子は、大きくなったといわ
れると、あいかわらずつまらなそう
なのである。
そのくせ、家の天井に手がつくといっ

伊藤たかみの

おたのしみ ええわさ



Vol.14

1971年生 上野高校出身、早大卒 小説家
「八月の路上に捨てる」(文藝春秋)で第135回芥川賞
「さぶそん」(ポプラ社、坪田譲治文学賞)など児童書も
手がける。

てジャンプしては叱られている始末だ
から困る。素直に喜ばないだろうに、
これが思春期というやつなのか。僕は
今どきの父つばく気をきかせてやるこ
とにした。恥ずかしいのかうつつとし
いのかわからないが、とにかくそつと
しておこう、と。

ただ困ったのは、ひと晩寝て朝起き
ると、つい昨日の決めごとを忘れてし
まうことだ。また夜のうちに背が伸び
た気がして、大きくなったと口走って
しまう。メジャーで身長を測ってみた
くもなる。

はたしてこの、どうにもならない感
情はどこからくるのだろう。

とりあえず、大きくなったと口に出
したり数字に書き留めておけば、親と
して安心するともいうのだろうか。
謎だ。

そういえばふと、学生時代につきあっ
ていた彼女が、金がないときでも家計
簿だけはつけていたのを思い出した。
いくら帳簿に書きこんだところで金は
増えないぞと笑ったら、とりあえず数
字を写しておけばいいのだと怒って
いたのだった。収支がぎりぎりだろうと
なんだろうと、書きだせばちゃんと把
握できている気がして安心できるのだ
とか。

当時は、あほくさいなああとあきれて
いたが、今の僕も、息子に対してそん
な気分であるのかもしれない。



BUNTO EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

ぶんとチャイルドクラシックプログラム
—おなかのなかから小学生になるまで—

第三回 おなかのなかからクラシック

ママとおなかの赤ちゃんに贈る、初めてのコンサート
心地よい音楽で赤ちゃんと一緒にリラックス!

- 日時 11月6日(土) 開場10:00 開演10:30
- 会場 青山ホール
- 料金 無料
- 対象 妊娠中のお母さまと、大人の同伴者2名様まで
※無料託児付き
(1歳〜6歳の未就学児 先着5名 要申込)
- 出演 矢巻正輝(Tb)、梅田望実(Pf)
- 申込 10月9日(土)10:00から☎22-0511で受付

なるほど〜クラシック

ロマン派音楽の楽しみ vol.3
〜ドヴォルザークの魅力に迫る〜



「クラシックのいろは2021」をわかりやすく鑑賞するための無料レクチャー!
この講座を受けると、より一層コンサートを楽しめること間違いなし!!

Vol.18 ドヴォルザークの室内楽の名作を味わう
〜新天地アメリカと故郷への想い〜

講師：鳥居明夫(伊賀コミュニティオーケストラ指揮者)

- 日時 11月21日(日) 14:00〜
※1時間程度
- 会場 伊賀市文化会館 多目的室
- 料金 無料(事前申し込み不要)



ころころ うろうろ おろおろ
〜親子で遊ぶココロとカラダのワークショップ〜

演劇やダンスなど、心と体を動かしながら親子で遊びます。
心のままに表現し、遊ぶ感覚を大切にしながら、親子の関係やコミュニケーションを見つめ直すことを目指すワークショップです。

- 日時 【1日目】11月7日(日)【2日目】11月14日(日)
【A枠】10:00〜12:00 【B枠】14:00〜16:00

※両日とも同時開催

- 会場 あやま文化センター
- 対象 A・B枠各親子10組
- ※お子様は4歳(年中)〜小学2年生が参加対象
※ご両親参加可、きょうだい参加可(対象年齢に限る)
- 募集期間 10月3日(日)午前9時
〜10月24日(日)午後5時
- 参加費 一人 1,000円(2日分)
- 受付 ☎22-0511で受付
- 講師 松岡咲子(伊賀市出身・女優/アートコーディネーター)



※詳細はホームページまたはチラシをご覧ください。

TOUCH THE STEINWAY
憧れのスタインウェイが弾ける

- あやま文化センター 11月13日(土)
- 青山ホール 12月5日(日)

開催時間 各日 10:00〜17:00

□演奏時間 30分

□参加費 1枠 500円 ※1枠2名まで

・青山ホールは2台のピアノ同時演奏も可能

参加費 1枠(60分) 2,000円 ※1枠4名まで

□募集人数 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切

□申込方法 10月16日(土)11:00から電話受付

●青山ホール ☎52-1109 (水曜休館)

●あやま文化センター ☎43-1125 (月曜休館)

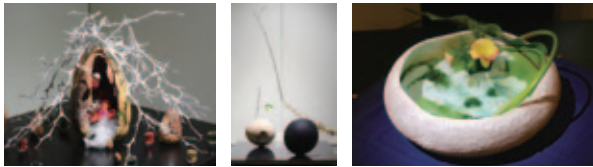
※音楽教室のレッスンや発表会としての利用はできません。

※受付初日は1回のお電話で2枠まで(2台利用の場合は1枠のみ)

の受付とします。

※楽器等の持込みはご遠慮ください。

陶活きて 花映える



- 日時 11月5日(金)〜7日(日) 10:00〜17:00

■会場 伊賀市文化会館

■料金 入場無料

6日(土)13:00から、好みの器でいけばなを楽しむ体験会を開催。
できあがった作品は器ごとお持ち帰りいただけます。

□定員 10名

□参加費 3,000円

□申込 10月6日(水)☎22-0511で受付

共催：伊賀陶芸会・伊賀華道協会

旧小田小学校本館活用事業

ちよっぴり怖かった理科室展

昔、理科準備室にあった骨格標本や人体模型等を展示

ちよっぴり怖い雰囲気懐かしい理科室を体験ください!

- 日時 11月1日(月)〜11月29日(月) 9:00〜16:30

※毎週火曜日休館(祝日の場合、翌日が休館日)

■会場 旧小田小学校本館

■料金 通常参観料が必要となります

※一般300円 高校生以下100円



安心の事前講習!

一泊二日の女子ソロキャンプ体験会

初心者の方大歓迎! オンラインで用具の選び方を
学んで、キャンプ場で実践! 女性講師が丁寧にレクチャーします!

- 日時 11月13日(土)〜14日(日)

■会場 岩倉峡公園キャンプ場

■料金 4,500円

※参加者のお子様(小学生)に限り
一緒に参加可能

■定員 20名

■対象 18歳以上の女性

■申込 いがぶら公式サイト

<https://igabura.com/>

詳しくはぶんとホームページ
をご覧ください。



身近な物で出来る科学実験授業

- 日時 11月20日(土)、21日(日)
各日、①11:00〜 ②14:00〜

■会場 旧小田小学校本館

■定員 各回5名

■対象 小学生(3年生以下は保護者同伴)

■料金 通常参観料のみ

※一般300円 高校生以下100円

■内容 ●科学手品

手品のたねを見破ってみよう

●火を使わない科学実験

スライムづくり・ペットボトルでプラバンづくり 他

※詳細はホームページまたはチラシをご覧ください。

■申込 10月24日(日)10:00から☎22-0511で受付

BUNTO ART EXHIBITION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

10.8 (金)
▼
10.17 (日)

10:00~16:30
最終日は15:00迄
火曜日休館

GLASS ART EXHIBITION IN IGA 2021 - 美しきガラスの表現 -

歴史情緒あふれる史跡旧崇広堂の和の空間を9名のガラスアーティストの作品が彩る。美しきガラスの表現がここに集う。

会場 史跡旧崇広堂 (伊賀市上野丸之内78-1)
入場料 無料 ※作品の販売等は有料
出展 上前 功夫 芝崎 由華 十川賀菜子
徳力 竜生 友定 聖雄 林田さなえ
廣瀬 絵美 細井 基夫 山本 佳子

■10/8~10/10 夜間特別開館 20:30まで開館



10.22 (金)
▼
10.31 (日)

10:00~19:00
最終日は16:00迄
火曜日休館

(公財)伊賀市文化都市協会創立30周年記念事業 三重の陶芸家展in伊賀2021

陶の現在を創る者たち

ぶんと創立30周年を記念して、陶芸活動に勤しむ三重県の陶芸家32名を厳選し、「現在」を創造する作品を集める。陶芸家たちの精力的な技や、想い、表現力を存分にお楽しみください。

会場 史跡旧崇広堂・赤井家住宅・入交家住宅
入場料 無料 ※作品の販売等は有料
出展 新 歓嗣・新 学・伊藤秀明・稲垣竜一・内田鋼一・尾花友久・角谷英明
小島憲二・小島陽介・清水 潮・清水 潤・清水酔月・清水久嗣・高木己樹恵
高山 光・高山 大・武村豊徳・田中小枝・谷本 景・谷本 貴・谷本由子
中田 篤・西田真也・蓮 善隆・秦 一朗・畑中伊紀・林 伸也・藤村州二
水谷幸勉・森 一蔵・森 正・安永正臣



11.19 (金)
▼
11.28 (日)

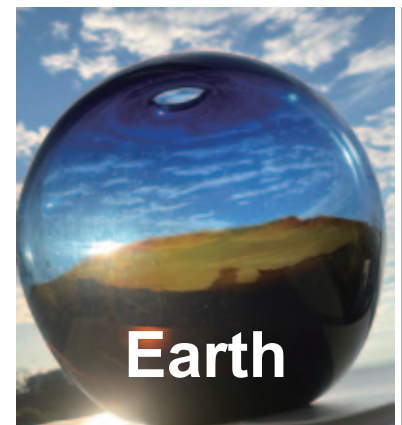
10:00~18:00
最終日は16:30迄
火曜日休館

ART EXHIBITION @SHISEKI KYU SUKOUDO Earth

この地球で“共に生きること”に真摯に向き合い、自然のすべてのバランスがあってこそ存在できるものと訴えるものです。各作家が其々の手法により、多様な自然の持つ美しさや激しさ、そして厳しさや儚さを表現したアート作品を通じ、あらためて地球的な視座で私たちの〈大地〉の今後を問い直す機会になる事を願っています。

会場 史跡旧崇広堂 (伊賀市上野丸之内78-1)
入場料 無料 ※作品の販売等は有料
出展 天谷 理彩 木村 奈央 笹井りょう 中村えい子
古谷 智子 松本 哲也 松本 秀美 三谷 洋介
メイヤー久美子 モリ・ミチ Rose Mary ZUVALANGA

■パスカルの蝶たち展 11/19(金)~23(祝)・27(土)・28(日)



11.12 (金)
▼
12.19 (日)

10:00~16:30
火曜日休館

伊賀市ミュージアム青山讃頌舎秋の特別展 こんなに楽しい四大絵巻物

「鳥獸戯画」をはじめとする国宝の四大絵巻を、稚月明コレクションの複製絵巻で大公開。絵巻物の見方・読み方を分かりやすく解説しています。

会場 伊賀市ミュージアム青山讃頌舎 観覧料 一般300円 (高校生以下無料)
■基調講演「ものがたる絵巻物」 11/20(土) 13:30~ 青山ホール 入場無料
講師：四辻秀紀 (名古屋経済大学特別教授)
■ワークショップ「昔、むかしのお話会」 12/12(日) 13:30~ 茶室 定員10名
■茶室で紅葉狩り 11/13(土)・14(日)・21(日) ①10時~②11時~③13時~④14時~
定員各回8名 呈茶代400円
■GALLERY TALK「おはなし四大絵巻物」 毎週日曜13:30~ [詳細はお問合わせください。]
[お申込み・受付] 伊賀市文化都市協会 電話22-0511



AKAIKE ART GALLERY 2021 炎をあやつる作家たち —バーナーワークの魅力—

■日時 11月18日(木)～28日(日)
10:00～17:00(水曜日休館)
■会場 武家屋敷 赤井家住宅
展示品を販売します。
(作品の引き渡しは後日となる場合があります)

●WORK SHOP
「1インチ」のガラス玉に込めた想い
バーナーワークでつくる「宇宙玉」or「花玉」



「ガラス文化を伊賀に！」をテーマに年数回ガラスの展示会を開催。数あるガラス技法の中から、「バーナーワーク」に焦点をあて、全国13名の作家の作品を展示、販売します！！



11/20(土)・21(日)・23(火・祝)
①10:30～12:00 ②13:00～14:30
武家屋敷赤井家住宅(伊賀市上野忍町2491-1)
講師：青井 功恵 定員：各2名
参加費：花玉 5,000円 宇宙玉 10,000円
■申 込 いがぶら公式WEBサイト <https://igabura.com/>
■お問合せ (公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

事務局職員募集 令和4年4月1日採用予定

文化芸術の振興や伝統文化の継承、事業の企画・実施、公共施設の運営・管理等に関する業務に経験のある方、または携わることに関心のある方の応募をお待ちしています。

採用職種 期限付職員(正規職員への登用あり)
予定人数 2名程度
募集要項 ホームページに掲載、伊賀市文化会館、青山ホール及びあま文化センターで配付
応募要件 令和4年3月末時点で、民間企業などで次の経験を有する人
●高校以上を卒業し、通算7年以上の(うち同一企業等で3年以上の継続した)実務経験を有すること
ただし、大学を卒業している場合、同一企業等で3年以上の継続した実務経験を有する人

試験日程 第1次試験 令和3年12月18日(土)
能力検査(基礎能力・事務能力)及び適性検査
第2次試験 令和4年1月16日(日)
第1試験合格者対象の個別面接
受付期間 令和3年12月3日(金)午後6時まで(厳守)

応募先・問い合わせ 事務局 総務課 ☎22-0511
ホームページ <http://www.bunto.com>



BUNTO EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

マットエクササイズ

日 毎週月曜日 7回コース
12月6日(月)～2022年2月7日(月)
※12月27日・1月3日・1月10日休講
11:00～12:00(受付10:30～)

所 伊賀市民体育館 管理棟
所 3,500円 対 一般
定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
講 藤川 恵美 先生
受 10月18日(月)13:00から
TEL 24-1184で申込受付
※1回のお電話で2名まで受付

リンパストレッチ

日 毎週火曜日
12月7日(火)～2022年2月8日(火)
※12月28日・1月4日休講
13:00～14:00(受付12:30～)

所 しらさぎ運動公園 管理棟
所 500円(1回) 対 一般
定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
講 高橋 一代 先生
受 しらさぎ運動公園の窓口または
電話(TEL 24-1184)で、各回
1週間前から申込受付

ノルディックウォーキングを体験してみよう! vol.24

日 11月10日(水)
10:30～12:00(受付10:00～)

所 しらさぎ運動公園周辺
※雨天時は多目的グラウンド
(伊賀市下友生3032番地)

所 200円
定 18歳以上
講 50名
受 10月13日(水)10:00から
TEL 24-1184で申込受付

ポール貸出 無料!

美容空手

日 毎週火曜日 6回コース
12月21日(火)～2022年2月8日(火)
※12月28日・1月4日休講
19:30～20:30(受付19:00～)

所 伊賀市民体育館 管理棟
所 3,000円 対 一般
定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
講 松本 慎吾 先生
受 10月16日(土)15:00から
TEL 24-1184で申込受付

トランポリズム

日 毎週火曜日 8回コース
12月7日(火)～2022年2月8日(火)
※12月28日・1月4日休講
19:30～20:30(受付19:00～)

所 しらさぎ運動公園 管理棟
所 4,000円 対 一般
定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
講 陶山 美佐 先生
受 10月16日(土)13:00から
TEL 24-1184で申込受付
※1回のお電話で2名まで受付

Let's YOGA in 文化会館

日 毎週水曜日 6回コース
12月22日(水)～2022年2月9日(水)
※12月29日・1月5日休講
11:00～12:00(受付10:30～)

所 伊賀市文化会館 リハーサル室
所 3,000円 対 一般
定 18名 ※先着順。定員になり次第締切。
講 矢野 妙子 先生(錦 真奈美 先生)
受 10月13日(水)13:00から
TEL 24-1184で申込受付
※1回のお電話で2名まで

エアロビクス

日 毎週水曜日 8回コース
12月1日(水)～2022年2月2日(水)
※12月29日・1月5日休講
19:30～20:30(受付19:00～)

所 伊賀市民体育館 管理棟
所 4,000円 対 一般
定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
講 嶋津 綾子 先生
受 10月16日(土)10:00から
TEL 24-1184で申込受付

ピラティス

日 毎週木曜日 8回コース
12月9日(木)～2022年2月10日(木)
※12月30日・1月6日休講
11:00～12:00(受付10:30～)

所 伊賀市民体育館 管理棟
所 4,000円 対 一般
定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
講 藤川 恵美 先生
受 10月14日(水)9:00から
TEL 24-1184で申込受付

ラテン系フィットネスZUMBA

日 毎週木曜日 8回コース
12月9日(木)～2022年2月10日(木)
※12月30日・1月6日休講
19:30～20:30(受付19:00～)

所 阿山B&G海洋センター
所 4,000円 対 一般
定 28名 ※先着順。定員になり次第締切。
講 大財 まさみ 先生
受 10月16日(土)11:00から
TEL 24-1184で申込受付
※1回のお電話で3名まで受付

Let's YOGA in 市民体育館

日 毎週金曜日 8回コース
12月10日(金)～2022年2月18日(金)
※12月31日・1月7日・2月11日休講
11:00～12:00(受付10:30～)

所 伊賀市民体育館 管理棟
所 4,000円 対 一般
定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
講 錦 真奈美 先生(矢野 妙子 先生)
受 10月15日(金)13:00から
TEL 24-1184で申込受付
※1回のお電話で2名まで受付

夜しあわせヨガ

日 毎週金曜日 8回コース
12月3日(金)～2022年2月4日(金)
※12月31日・1月7日休講
19:30～20:30(受付19:00～)

所 伊賀市民体育館 管理棟
所 4,000円 対 一般
定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
講 山中 倫子 先生
受 10月16日(土)14:00から
TEL 24-1184で申込受付

日 日時 所 場所 料 金 定 定員 講 講師 対 対象者 受 申込受付

編集後記

今号トップページに川淵皓平氏にご登場いただいた。私事ではあるが、13年前に「灯りの城下町」というイベントを立ち上げた。また、10年前から「伊賀上野NINJAフェスタ」の実行部会長を拝命している。川淵氏にはこれらの事業の合同イベントで大変お世話になっている。「現在は耐え忍ぶとき 闇の先には必ず光がある」本年10月に実施予定の「灯りと忍びの城下町」は中止となった。今はただ、再び会場で一緒にできることを切に望むばかりである。(広報事業委員 菊野 善久)

BUNTO TICKET

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

10月17日(日) 開場 14:15
開演 15:00

伊賀市文化会館開館30周年記念事業
オペラ ヘンゼルとグレーテル
出演者 味岡真紀子(ヘンゼル)
金岡侂奈(グレーテル)ほか
指揮者 寺岡清高 管弦楽 大阪交響楽団



ヘンゼル
味岡真紀子

■会場 伊賀市文化会館

料金 指定 発売中

一般 1,500円 SaMaZaMa Club会員 1,300円 高校生以下 1,000円

11月27日(土) 開場 13:30
開演 14:00

bimonthly Concert Vol.28
音が描き出す情景
出演者 河内 楓(ピアノ)



ピアノ
河内 楓

■会場 伊賀市文化会館

料金 自由 発売中

一般 500円

11月27日(土) 開場 13:15
開演 14:00

邦楽のいろは

出演者 麻植理恵子(箏)
川崎貴久(尺八) (右側)
小林鈴純(尺八) (左側)



■会場 あやま文化センター

料金 指定 発売中

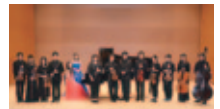
一般 500円

11月28日(日) 開場 13:15
開演 14:00

室内楽の調べ
～秋の深まりをIGAオーケストラ
アンサンブルBUNTOとともに～
■ナビゲーター・指揮：山本 健太
■演奏：IGAオーケストラアンサンブルBUNTO



ナビゲーター 山本 健太



■会場 青山ホール

料金 自由 発売中

一般 1,500円
高校生以下 500円

12月4日(土) 開場 13:15
開演 14:00

クラシックのいろは2021
ドヴォルザークに執心! Vol.2
至高のクインテット
～大阪響精鋭奏者による競演～



■会場 伊賀市文化会館

料金 自由 発売中 ※指定席完売

大人 1,500円 SaMaZaMa Club会員 1,300円
高校生以下 500円 ペアチケット(2枚) 2,400円

12月12日(日) 開場 14:30
開演 15:00

新人演奏会inいが40周年記念事業
新人演奏会 in いがフェスティバル
記念コンサート



※写真はイメージです

出演者 ①荒木 まどか (Hp) ④打楽器・アンサンブル 由 (SORA)
②コーラス・アンサンブル ⑤サクソフォーンカルテット・ブランシュ
③村山 響 (P) ⑥谷本 綾香(Ms)

■会場 伊賀市文化会館

料金 自由 11/7(日) 発売

一般 2,000円
高校生以下無料(要整理券)

2022年 1月22日(日) 開場 13:30
開演 14:00

bimonthly Concert Vol.29
フルートとピアノで奏でる
国民楽派の調べ



ピアノ
水谷映実里

フルート
井岡 文奈

出演者 水谷映実里(ピアノ)
井岡文奈(フルート)

■会場 伊賀市文化会館

料金 自由 11/27(土) 発売

一般 500円

2022年 1月15日(土) 開場 13:00
開演 13:30

新春を祝う 能楽「羽衣」



出演者 喜多流能楽師 長田 駿、長田 郷

■会場 伊賀市文化会館

料金 指定 11/7(日) 発売

一般 1,000円
高校生以下 500円

ホールこれから情報

校正時点での情報です。催しについては、それぞれの催しの主催者へお問い合わせください。

伊賀市文化会館

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
10月31日(日) 14:00~	音楽×ダンス×演劇 カラー・ジュコラー・ジュ2021	前売 2,000円 当日 2,500円	マール ラボ ☎090-4940-4773 (田口)
10月17日(日) 15:00~	オペラ ヘンゼルとグレーテル	一般 1,500円 観客以下 1,000円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
10月24日(日) 13:00~	第5回フラフェスタ上野	無 料	フラオナブレイクイ ☎48-6254-080-2484-3734(福森)
10月30日(土) 12:30~	琴修会伊賀支部 大正琴の集い	無 料	綺さわ楽器 ☎23-8080
10月31日(日) 13:00~	伊賀市民文化祭 DANCE(ダンス)	無 料	伊賀市民文化祭実行委員会 ☎23-5719(川口)・090-7028-9857(山下)
11月5日(金)~7日(日) 10:00~17:00	伊賀陶芸会・伊賀華道協会 コラボ企画展 陶活きて花映える	無 料	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
11月21日(日) 13:00~	伊賀市民文化祭 総合フェスティバルI	無 料	伊賀市民文化祭実行委員会 ☎23-5719 (川口)
11月23日(火・祝) 13:00~	伊賀市民文化祭 総合フェスティバルII	無 料	伊賀市民文化祭実行委員会 ☎23-5719 (川口)
11月27日(土) 14:00~	bimonthly Vol.28 音が描き出す情景	500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
11月28日(日) 10:00~	コロナに負けるな! カラオケ等発表会	無 料	カラオケランドぼんぼこ ☎23-3714・090-5034-9776 (秋永)

〈お問い合わせ〉

(公財)伊賀市文化都市協会 ☎0595(22)0511 Fax0595(22)0512 <http://www.bunto.com>
伊賀市文化会館 ☎0595(24)7015
青山ホール ☎0595(52)1109 あやま文化センター ☎0595(43)1125

青山ホール

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
10月31日(日) 14:00~	フェリーチェ ヴォーカルコンサート	1,000円 (当日3,000円)	大阪音楽大学 同窓会<幸楽会>三重支部 ☎090-3836-7491 (富治林)
11月3日(水・祝) 13:30~	令和3年度 市民向けセミナー	無 料	伊賀市社会福祉法人連絡会 ☎21-5866
11月6日(土) 10:30~	ふんとチャイルドクラシックプログラム 第三回 おなかのなかからクラシック	無 料 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
11月7日(日) 10:30~	ピアノ & エレクトーン発表会	無 料	綺さわ楽器 ☎23-8080
11月13日(土) ~15日(月) 9:00~(15日は13時まで)	第56回 青山ふるさと美術文化展覧会	無 料	伊賀市教育委員会 青山公民館 青山老人ケ ラブ連合会 青山文化サークル連絡協議会 ☎52-1110 (青山公民館)
11月20日(土) 13:30~	伊賀市ミュージアム青山顕徳会秋の特別展 こんなに楽しい四大絵巻物 基調講演「ものがたる絵巻物」	無 料 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
11月28日(日) 14:00~	室内楽の調べ ～秋の深まりをIGAオーケストラ アンサンブルBUNTOとともに～	一般 1,500円 観客以下 500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

あやま文化センター

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
11月13日(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎43-1125 (あやま文化センター)
11月27日(土) 14:00~	邦楽のいろは	一般500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

今回の発行は12月1日号になります。